

絵画

×ファッション

—春にめぐる装いの世界—

2025年度 企画展

4月21日(月)

▶ 6月21日(土)

◆ 開館時間

平日 10:00-17:00

土曜 10:00-13:00 (5/17は16:00まで開館延長)

◆ 休館日

日曜 (5/18・6/15は16:00まで開館)・祝日 (4/29は17:00まで開館)・5/7

※休館日、開館時間が変更になる場合があります。

詳しくは当館のウェブサイトをご覧ください。

共立女子大学博物館

Kyoritsu Women's University Museum

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-1 2号館B1F

お問い合わせ先: 03-3237-2665 <http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/muse/>

入館無料



作品名

左: ウィリアム・ホガース 「当世風結婚」(部分) 1745年

中央: ロープ・ア・ラングレーズ 18世紀

右: アビ・ア・ラ・フランセーズ 18世紀





ごあいさつ

本学博物館のコレクションは服飾資料を特色としていますが、ファッションプレートや銅版画を中心とする絵画資料も多く所蔵しています。本展では、当館が所蔵する西洋服飾資料と絵画資料を組み合わせ、18世紀から20世紀までの装いの世界をめぐる。

18世紀の作品では、ロココ期の華やかな装飾で彩られた男女の服飾を、ウィリアム・ホガースの風刺画とともに展示します。また、20世紀に花開いた新しいファッションの方向性を象徴するマリアノ・フォルチュニのドレス「デルフォス」と、その土壌となったラファエル前派やエドワード・バーン=ジョーンズらの銅版画との共演も見どころです。

当館のコレクションでめぐる華やかな装いの世界を、この春にお楽しみください。



①



②



関連イベント

【鑑賞プログラム】

「スケッチ×見どころレクチャー」

閉館後の展示室でスケッチをお楽しみいただけます。

学芸員による見どころの解説つきです。

講師：当館学芸員

開催日時：5月31日（土）①13：00～ ②15：00～

1時間程度を予定しています。

定員：各回7名程度（事前予約制）

※中学生以下は保護者同伴必須。

定員になり次第、締め切らせていただきます。

詳細および注意事項は当館ウェブサイトを必ずご確認ください。

申込方法：当館ウェブサイト、

またはQRコードから →



【ギャラリートーク】

開催日時：① 5月13日（火） 12：50～13：10

② 6月4日（水） 12：50～13：10

当館学芸員が作品の解説をします。

事前申込不要。開始時刻に展示室へお集まりください。

アクセス

- ・東京Metro半蔵門線・都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」駅下車A8出口から徒歩1分
- ・東京Metro東西線「竹橋」駅下車1b出口から徒歩3分



③



④



⑤



作品名

- ① ボンネット 1970年代
- ② 「ラ・ノビータ」 1874年
- ③ エドワード・バーン=ジョーンズ 「春」 1900年
- ④ マリアノ・フォルチュニ 「デルフォス」 1920年代
- ⑤ ダンテ・ガブリエル・ロセッティ 「ベアタ・ベアトリクス」 19世紀



X(旧 Twitter)



Instagram

共立女子大学博物館
Kyoritsu Women's University Museum